



南部町立南部中学校 学校だより 第15号

千一ム南部中

令和2年10月22日(木)
校長 望月和彦

思い出に残る「修学旅行」

今年度の修学旅行は、新型コロナウイルス感染症対策のため、4月から半年延期し、広島市内の見学や宿泊の1日を削ったり、路線バスや地下鉄を使わずにジャンボタクシーを利用した自主見学に変更したり、行きの新幹線をバスに替え、2台のバスを3台に変更したりするなど可能な限りの感染症対策を行っての特別な修学旅行となりました。

10月13日(火)の早朝、「道の駅とみざわ」をたくさんの保護者に見送られながら出発しました。バス内でもマスク着用、乗り降りの際の手指消毒、2座席を1人で使用など感染症対策を施しながら、ガイドさんのお話やバスレク系のクイズで和やかに長旅を楽しみました。1日目の見学地は、奈良県の法隆寺、薬師寺と奈良公園でした。法隆寺、薬師寺、奈良公園で驚いたことは「びっくりするほど観光客が少なかったこと」です。例年ですと法隆寺の五重塔や金堂では堂内を見学する人の長い行列があるのですが、今回は待ち時間なしでじっくり見ることができました。記念写真もいつもなら順番待ちですが、写真を撮っているのは本校のみでした。薬師寺では他の修学旅行の団体はおらず、東大寺の南大門前も、いつもなら人をかき分け前を進むような状態なのですが、大通りを周りの景色を見ながら悠々と歩くことができました。生徒たちは、ガイドさんから法隆寺の五重塔の6枚の屋根の話の聞いたり、歴史の授業で習った玉虫厨子をじっくり眺めたり、メモをとりながら一生懸命見学していました。薬師寺では参与の北川和夫さんから薬師寺の歴史や建物、玄奘三蔵とのつながりや平山郁夫さんの壁画などについて詳しく教えてもらいました。私の記憶に強く残っているのは北川さんの次の説明です。



「三重塔のてっぺんには水煙という飾りがついています。その水煙にはとても細かな彫刻が丁寧に施してあります。地上からではとても見えませんね。昔の職人は見えないところにも手を抜かず最大限の努力をして少しの効果を上げようとしていました。現代の人たちはどうでしょうか。できるだけ少ない努力で、できるだけ大きな効果を期待する人が多い気がします。今でも昔の人々から学ぶことはたくさんあります。」

生徒たちも、古代の人々に思いを馳せながら、日本の伝統文化の素晴らしさを味わっているようでした。奈良公園のグループごとの自主見学では、見学時間が短くなり心配しましたが、どのグループも興福寺の阿修羅像や東大寺の金剛力士像や大仏など予定のコースを見学できたようでした。見学の最後にたくさんの鹿たちと戯れている生徒たちの姿が印象的でした。

京都市十条のアリソンホテルに宿泊し、2日目はメインの京都一日自主見学です。黒塗りのデラックスなジャンボタクシーにグループごと乗り込み、事前に計画した見学地にそれぞれ出発しました。生徒たちに様子を聞くと、タクシーの運転手さ



んがガイドもしてくれて、見どころを詳しく説明してくれたり、記念写真も撮ってくれたりしたそうです。移動のロスもなく安全に目的の見学地を巡り、運転手さんの工夫で余った時間を使って計画になかった観光スポットを見学できたグループもあったようです。全グループが予定時刻に宿舎に到着し、多くの生徒が満足した顔で帰ってきました。夜のクラスミーティングで生徒たちの感想を聞いていると、どの生徒も心に残る場所や出来事があり、大切な思い出ができたようでした。



最終日は、朝一番で高台寺に行き、クラスごとに「座禅」の体験と庭園の見学をしました。座禅の作法を教えてもらい、短い時間でしたが背筋をぴんと伸ばし静寂の中で心を落ち着ける体験をしました。多くの生徒がお坊さんに警策で肩をたたいてもらっていましたが、予想以上の痛さに驚いている生徒もいました。これも良い思い出になったことでしょう。最後は、全員で清水寺を見学し、昼食の美味しいコース料理を食べて帰路につきました。

帰りのバスの中では「修学旅行に行けたことや支えてくれた方々に感謝したい」「仲間と心に残る思い出ができた」「あと1日修学旅行を続けたい」などの声が聞かれました。3日間天候にも恵まれ、発熱など体調不良を起こす生徒もなく、全員が無事にすべての行程を終了できました。様々な困難を乗り越え、実施に向けて支援や協力をしてくださった保護者の皆様、町当局、教育委員会、旅行業者の方々に感謝したいと思います。

2年生は「県内めぐり」

10月13日(火)、14日(水)と2年生は県内めぐり(宿泊学習)に出かけてきました。初日は昇仙峡を生活班で散策し、お弁当を班ごと和気あいあいと食べていました。その後県立美術館・文学館をクラスごと見学しました。生徒たちは文学館で渡された資料に一生懸命に書き込んだり、シールを貼ったりと楽しそうに学んでいました。そして、県立科学館を班ごと楽しみ、愛宕山少年自然の家に宿泊しました。2日目は県立博物館を班ごと見学しました。一つ一つの場所を見学する時間が短く、県立の学習施設の見学ダイジェスト版のような形になってしまいましたが、興味を持った場所にもう一度家族でじっくり見学に行くきっかけになればと思いました。どの施設でも係の人から「素晴らしい生徒さんたちですね」と褒められるほどしっかりした態度で見学することができていました。最後にグレープハウスでの「ほうとう作り」をおこない、自分で打ったほうとうをおいしくいただきました。集団生活の組織づくりや係活動、集団生活のルールやマナーづくりとその実行など、3年生での修学旅行に向けて、貴重な経験になったと思います。(文：団長の内田勝久教頭)

